

取扱説明書

20.7型ワイド液晶ディスプレイ LCD-MF211Xシリーズ



台座を取り付ける

- ① 平らなところに柔らかい布などを敷き、本製品の画面側を下にして置く
- ② 台座の矢印を下（本製品の前側）に向けて持つ
- ③ ネックの2つのツメが「カチッ」というまで、台座をネックに押し込む

この度は弊社製液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

ユーザー登録について

●[IOPortal]で登録できます。 <https://iportal.iodata.jp/>
ユーザー登録に必要なシリアル番号(S/N)は、本製品の背面のシールに印字された12桁の英数字です。

- #### 取り付けのコツ
- ① ネックのツメの片方を奥まで入れる
 - ② もう片方のツメを奥まで入れる
 - ③ 2つのツメが「カチッ」というまで台座を押し込む

- #### 台座を取り外す場合
- ① 平らなところに柔らかい布などを敷き、本製品の画面側を下にして置く
 - ② 両手で台座を持ち、下側のツメを両手の親指で押し上げて外す
 - ③ 本製品を軽く押さえながら、台座の下側を引く

ご注意：台座の取り付けについては以下を守る

液晶パネルが故障または破損するおそれがあります。
●本製品を床などに落とさない ●パネルを傷つけない
●ディスプレイ部（表示面）を手で強く押さない

型番	LCD-MF211Xシリーズ
保証期間	ご購入日より36ヶ月間有効です
ふりがな	
お名前	
TEL. () -	
〒	
ご住所	

裏面の「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがあると、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店情報は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

ご購入日	
住所・店名	
TEL. () -	

ご販売店様へ

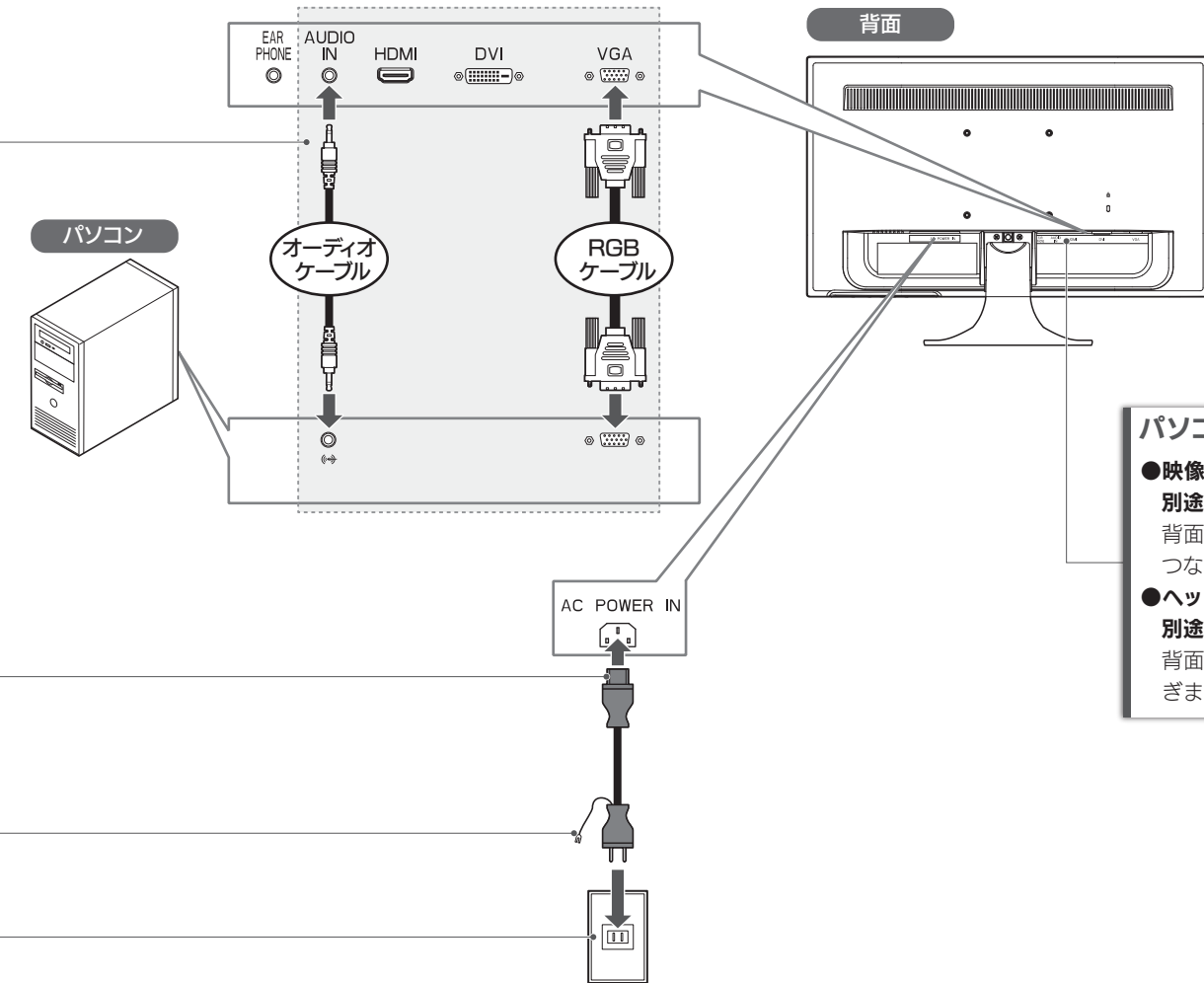
- お客様へ商品をお渡す際は必ず販売店日をご記入欄にご記入し、貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
- 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（裏面修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

つなぐ

- ① **本製品とパソコンをつなぐ**
※RGBケーブルは、ネジをしっかりと締めて固定してください。
※別途用意したDVI-Dケーブルでパソコンとつなぐこともできます。つなぐ際は、ネジをしっかりと締めて固定してください。
※別途用意したHDMIケーブルでパソコンとつなぐこともできます。
- ② **電源コードを本製品につなぐ**
※使用中に電源コードが抜けないように、電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。
- ③ **アースをつなぐ**
ご注意：アースについては以下を守る
●必ずアースをつなぐ
アースがつながれていない状態で万一故障した場合、感電の恐れがあります。
●電源プラグをコンセントにつなぐ前に、アースをつなぐ
●アースを外す前に、必ず電源プラグを抜く
●アースをコンセントに挿入、接触させない
火災・感電の原因になります。
- ④ **電源プラグをコンセントにつなぐ**



パソコン以外とつなぐ

●映像機器(ゲーム機)とつなぐ
別途用意したHDMIケーブルで、背面の「HDMI」と映像機器をつなぎます。
●ヘッドホンとつなぐ
別途用意したヘッドホン、背面の「EAR PHONE」とつなぎます。

使う

電源を入れる/切る

POWER ボタンをタッチします。

音量・ブルーリダクション・輝度を調節する

◀▶ ボタンをタッチすると、音量・ブルーリダクション・輝度を調節するメニューが表示されます。
※設定メニュー非表示時のみ

- ◀▶ 値を調節する
- 項目を切り換える
- メニューを閉じる

入力を切り換える(アナログ/デジタル/HDMI)

INPUT ボタンをタッチします。

設定メニューを開く

MENU ボタンをタッチします。

- ◀▶ 項目を移動する
- 値を調節する
- 項目・値を決定する
- 前の項目に戻る

映像の表示位置を自動調整する(アナログのみ)

INPUT ボタンを3秒間タッチし続けます。

メニュー表示をロックする

◀ ボタンを3秒間タッチし続けます。解除するときも、同様します。

ボタンのタッチ方法

ボタン印刷面の下にある突起をタッチします。

電源ランプについて

電源ボタンの左に電源ランプがあります。電源ランプは状態により、光り方が異なります。

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯	電源切
	節電状態*

* 設定メニュー内の「自動電源オフ」が「手動復帰」または「自動復帰」に設定されている場合は、一定時間信号が入力されないとき消灯します。

角度を調節する

画面の角度は、前に約5°、後ろに約20°の範囲で調節できます。
両手でフレーム部分を持って、調節してください。

ご注意：角度の調節について

- 記載された範囲以上に倒して使わない
本製品が転倒または破損するおそれがあります。
- 調節の際は、手や指をはさまないように気をつける
- 調節の際は、ケーブルをはさまない・ケーブルや端子に無理な力が掛からないようにする
ケーブルが抜けたり、ケーブルや液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

詳しい使い方を見る

設定メニューの内容などは、『画面で見るマニュアル』に記載されています。

開き方

以下にアクセス
<http://www.iodata.jp/r/4913>



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

- ▼ 警告および注意事項
- ▲ 危険 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険があります。
- ▲ 警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- ▲ 注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。
- 禁止
- 指示を守る

危険

- 本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所を使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から染み込み、火災・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海洋、水辺で使う際は、特に注意する
- 水の入ったもの(コップ、花瓶など)を上に乗けない
- 掃除は必ず乾いた布でおこなう
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない
- 本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
- 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。
- 梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。
- AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながらない
火災や感電の原因になります。
- 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

- ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでおくみがある場合は、はっながなくてください。発熱して火災の原因になります。
- 電源コードにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線(電気の流れるところ)が露出したら、ショートし、火災・感電の原因になります。
- 添付の電源コードは、他の機器につながらない
火災や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿度の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。
- テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。
- 故障や異常のまま、つながらない本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。
- 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災の原因になります。
- コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。
- 液晶パネルから漏れた液体(液漏)には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体(液晶)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

注意

- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を300〜1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- ディスプレイの角度や高さ調節時に、指をはさまないように気をつける
- 電源を入れた状態で、お向は、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。
- 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

免責事項・規格

- #### ■免責事項について
- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる動作やパフォーマンスなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の保証条件は、裏面の「ハードウェア保証規定」をご覧ください。
 - 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■VCCI規格について

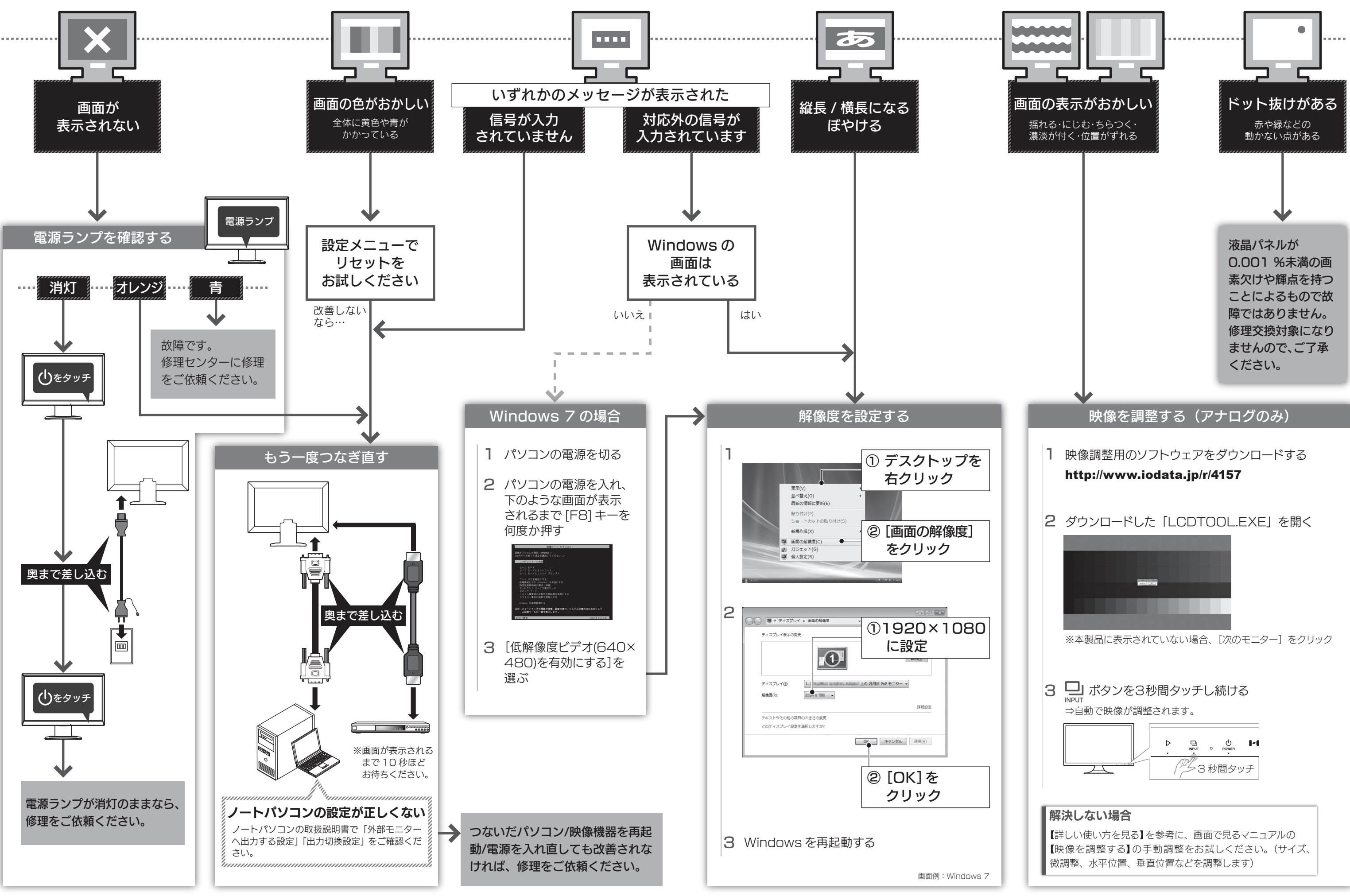
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■J-Mossについて

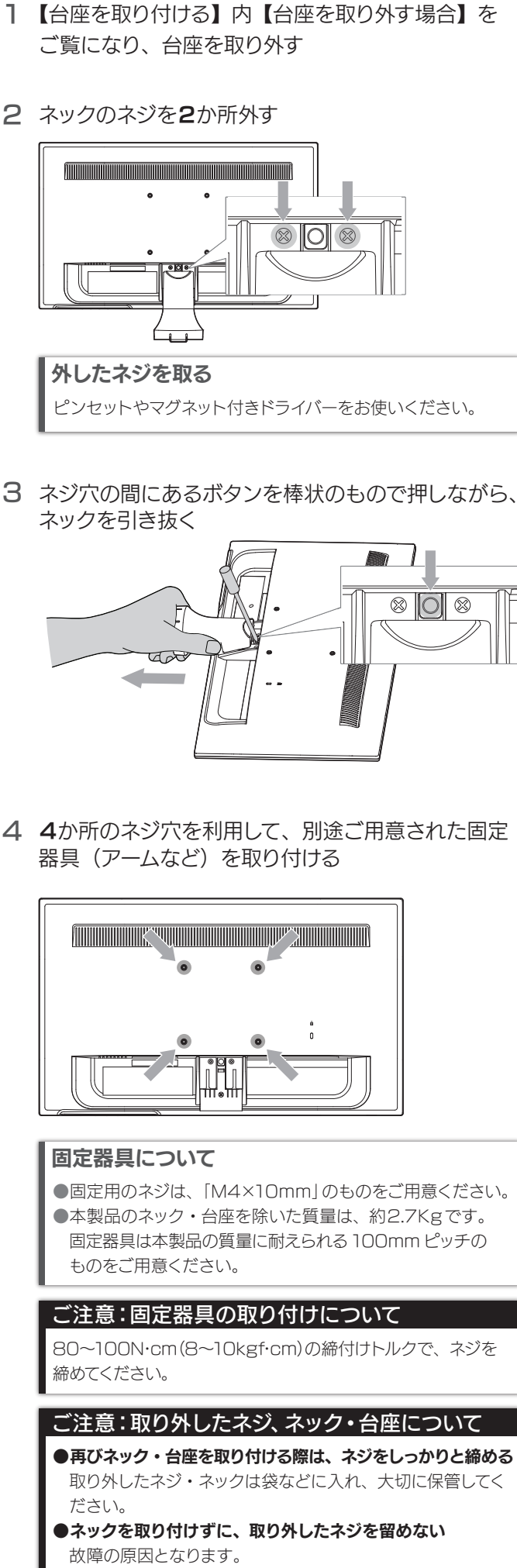
この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
<http://www.iodata.jp/jmoss/>



困ったときには



アームを取り付ける (ネックを取り外す)



液晶ディスプレイの回収・リサイクル



アフターサービス



修理



ハードウェア保証規定

